

台湾道教における齋儀

平成27年2月
中旬刊行！

—その源流と展開—

山田明広著

A5判・上製カバー・264頁／6500円(税別)

道教は中国固有の宗教であり、韓国や日本、ベトナムなどの宗教や文化に大きな影響を与え、華僑を通じてアジアを中心に世界各地にもたらされている。道教の中でも儀礼研究は特に重要なテーマである。文献研究と現地調査を組み合わせ、歴史学・思想史学・宗教学・文化人類学などの視点を取り入れ、後漢末から現代に至るまで道教の齋儀について多面的に考察した刮目の書。

〔結章より〕——過去の道教儀礼と現在の台湾の道教儀礼の両方について分析することを通して、道教の齋儀が現在に至るまでにいかに変容したのか、また反対に今なお古い齋儀の伝統がどれほど保存されているのかを示した研究である。特に、道教における「齋」が歴史的には何を意味し、また現在においては、とりわけ、中国大陸のような文化大革命などによる伝統文化の断絶がなかった現在の台湾においては何を意味するのかを示し、かつ現在台湾で見られる道教儀礼の中には歴史の意味での齋儀と現在の意味での齋儀が並存していることを明示したという点に本書の最大の特徴がある。

目次

第一部 歴史的な道教儀礼における齋儀

第一章 塗炭齋考—陸修静の三元塗炭齋を軸として—

陸修静以前の塗炭齋法

陸修静以後の塗炭齋法

第二章 道教齋における自虐的行為の効能およびその衰退について—塗炭齋を中心として—

道教齋に見られる自虐的行為

自虐的行為の効能

道教齋における自虐的行為の衰退

第二部 台湾道教儀礼における齋儀

第一章 台湾正一道紅頭道士の午朝科儀

正一道紅頭道士の午朝科儀

紅頭道士が行う他の朝科との比較

第二章 台湾道教に見られる二種類の午朝科儀

—儀礼構造の比較を中心として—

二種類の午朝科儀の実際

二種類の午朝科儀の儀礼構造上の差異

第三章 道教の功德儀礼の科儀について

—台南市の一朝宿啓の功德を例として—

台南地域における一朝宿啓の功德儀礼の事例

一朝宿啓の功德儀礼の科儀

死者救済の構造

第三部 台湾道教儀礼における神と法具

第一章 台湾の道教儀礼に見られる玄天上帝

儀礼空間中の玄天上帝

第二章 台湾の道教儀礼に見られる「水」

「水」を使用する動作

「水」を主体とする科儀

浄水の入手作成方法

索引

◆著者紹介◆

山田明広(やまだ あきひろ)

一九七六年、徳島県に生まれる。関西大学大学院文学研究科中国文学専攻博士課程後期課程修了。博士(文学)。関西大学アジア文化交流研究センターRA、同センターPDなどを経て、現在、関西大学非常勤講師、同大学東西学術研究所非常勤研究員。共著に坂出祥伸先生退休記念論集刊行会編『中国思想における身体・自然信仰—坂出祥伸先生退休記念論集』(東方書店、二〇〇四年)、田中文雄・テリークリーマン編『道教と共生思想』(大河書房、二〇〇九年)など。

◎注文はJRCへ FAX03(32664)2177

注文書	
書店印	注文数
貴店印	
大河書房	山田明広著
TEL03(3228)3354	FAX03(32663)48892
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-7-8 関山ビル3F	
ISBN978-4-902417-34-0 C3014 ¥6500E	
台湾道教における齋儀—その源流と展開—	
本体6500円+税	

大河書房

TEL03-3288-3354 FAX03-3263-4892
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-7-8 関山ビル3F
E-mail:fuji-d@muc.biglobe.ne.jp